

咽頭結膜熱について

咽頭結膜熱の定点あたり報告数は 0.83 人で前週 (0.95 人) と比較して若干下がったもの、引き続き高い値で推移しています。

今後も、報告数の多い状態がしばらく続くことが予想されますので、

プール前後のシャワーや洗眼を徹底する。

タオル等の共用を避ける。

うがいや手洗いを励行する。などの予防に心がけて感染を防ぎましょう。

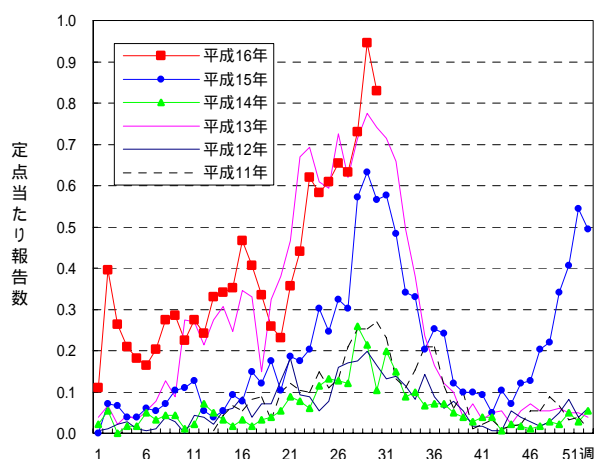
詳しい情報については愛知県衛生研究所のホームページ

(<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/intou.html>)

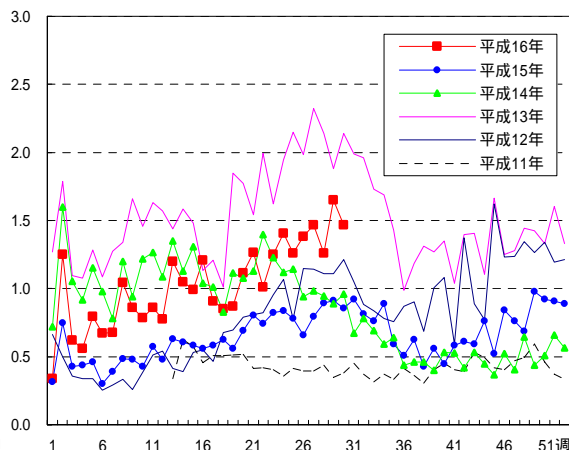
をご覧ください。

流行状況

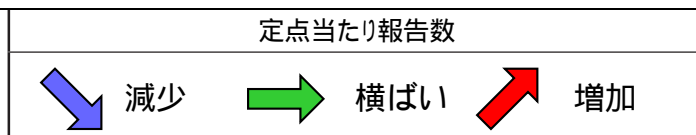
咽頭結膜熱



流行性耳下腺炎



疾患名	前週	今週	備考
ヘルパンギーナ	3.4 ↓	2.0 ↓	夏かぜの一つ。咽頭に赤いリングの小水疱と浅い潰瘍
流行性耳下腺炎	1.6 ↑	1.5 →	耳下腺の腫脹を主症状とするムンプスウイルス感染症
咽頭結膜熱	0.95 ↑	0.83 ↓	発熱・咽頭炎・結膜炎を主症状とする急性のアデノウイルス感染症



(関連リンク)

愛知県感染症情報 (<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/kansen.html>)

予防接種について (http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/yobou_week.html)

風疹について (<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/huusin.html>)

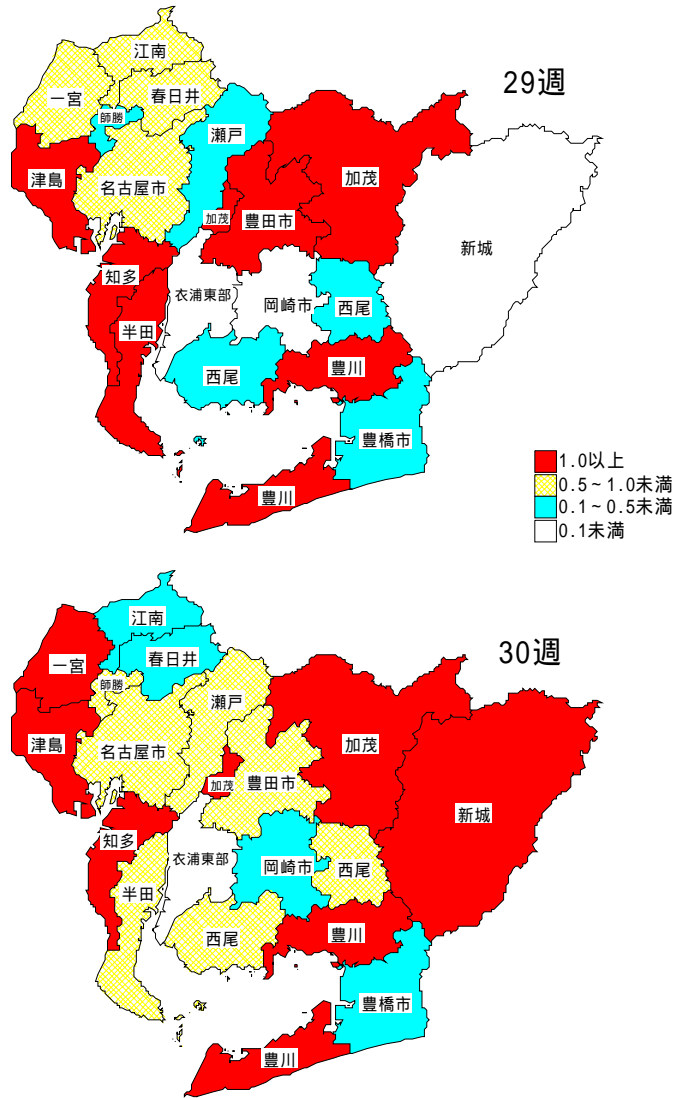
全国状況(感染症発生動向調査週報):厚生労働省感染症研究所感染症情報センター - ホームページ (<http://idsc.nih.go.jp/kanja/index-j.html>) をご覧ください。

(作成)

愛知県感染症情報センター 連絡先:052-910-5619

E-mail: eiseiken@pref.aichi.lg.jp

咽頭結膜熱の保健所別報告数の推移(名古屋市含む)



	30週	定点 当たり	29週	定点 当たり		30週	定点 当たり	29週	定点 当たり
名古屋市	37	0.53	45	0.64	岡崎市	2	0.29	0	0.00
瀬戸	8	0.89	3	0.33	衣浦東部	1	0.09	1	0.09
津島	8	1.14	8	1.14	西尾	4	0.80	1	0.20
師勝	2	0.50	1	0.25	豊田市	7	0.88	18	2.25
一宮	15	1.25	6	0.50	加茂	4	1.33	4	1.33
春日井	4	0.44	6	0.67	豊橋市	3	0.38	2	0.25
江南	2	0.33	5	0.83	豊川	19	2.38	13	1.63
半田	3	0.50	6	1.00	新城	3	1.50	0	0.00
知多	29	4.14	53	7.57					

○ は今週警報が出ている保健所(市)です。

厚生労働省感染症発生動向調査警報発生システムによる咽頭結膜熱の流行発生警報は保健所(市)定点当たり1.0人を越えた場合に発生し、0.1人を下回るまで継続します。警報の意味は大きな流行が発生または継続しつつあることが疑われるということです。

定点の先生方からのコメント

尾張西部地区

5歳男 マイコプラズマ肺炎
【一宮市 あさのこどもクリニック】
病原性大腸菌O6 3歳男
病原性大腸菌O8 5歳女
アデノウイルスとマイコプラズマ感染症
が増加しています。
【尾西市 城後小児科】
おたふく散発しています。
【犬山市 武内医院】
ヘルパンギーナ、先週より やや少なくなりました。
2歳女、カンピロバクター腸炎
【江南市 みやぐちこどもクリニック】

ヘルパンギーナ続発中
ムンプスも続発中
無菌性髄膜炎3例ありました。
溶連菌感染症はおちついていません。
今年は、まだ手足口病をみていません。
【岩倉市 医療法人なかよしこどもクリニック】
8歳女マイコプラズマ肺炎、ヘルパンギーナ、ムンプスが未だ多い様です。
【春日町 丹羽医院】
33歳女マイコプラズマ肺炎
【師勝町 田中クリニック】

尾張東部地区

マイコプラズマ肺炎 12歳男
【瀬戸市 津田こどもクリニック】
今週もヘルパンギーナ流行続いております(手足口病1例のみ)。
その他、水痘、突発性発疹症等(少し暇になってきました。)
【尾張旭市 医療法人誠和会佐伯小児科医院】
42歳女 カンピロバクター腸炎
【豊明市 豊明団地診療所】
アデノ咽頭炎 2例
ムンプス 2例
リンゴ病 1例
ヘルパンギーナ、手足口病なし
【春日井市 朝宮こどもクリニック】

ムンプスが再度増加している印象です。
【春日井市 竹内医院】
ヘルパンギーナまだつづいている。
アデノ咽頭炎もあり
【小牧市 小牧市民病院】
ヘルパンギーナが多いです。
【小牧市 医療法人心正会鈴木小児科】
マイコプラズマ様の気管支炎が何例かありました。
【大府市 まえはらこどもクリニック】

西三河地区

1歳男 病原性大腸菌O18
2歳男 サルモネラ腸炎O7
5歳女 イムノカードST.StrepA(+)
【豊田市 星ヶ丘たなかこどもクリニック】
7歳男 カンピロバクター(+)
1歳男 病原性大腸菌O1(+)
胃腸症状を伴うカゼが散発
【岡崎市 花田こどもクリニック】
10歳男 カンピロバクター
【岡崎市 にいのみ小児科】
サルモネラ等細菌性腸炎やや増加
【碧南市 永井小児クリニック】

ヘルパンギーナが目立ちます。
口内炎の位置に前月と違いがあるような感じがしますが...
【知立市 宮谷クリニック】
4歳女 サルモネラ腸炎
流行性耳下腺炎 6人中4人同一保育園
【西尾市 山岸クリニック】
8歳男 サルモネラ腸炎
8歳男 アデノウイルス感染症
10歳男 带状疱疹
【幸田町 とみた小児科】
2歳女 大腸菌O169
【三好町 医療法人三好丘こどもクリニック】

東三河地区

5ヵ月男 百日咳 DPT1回接種 兄(D
PT4回接種)から感染
【豊橋市 あずまだこどもクリニック】

3歳男、5歳男 マイコプラズマ肺炎
6歳男 E.coli O20 約1週間下痢が続
いた。

【田原市 かわせ小児科】

一～三類感染症の発生状況 - 愛知県(名古屋市を除く。) -

コレラ

番号	報告 保健所	年齢	性別	発病 月日	初診 月日	診定 月日	菌型等	備考
1	一宮	61	男	7/16	7/18	7/23	確定*	推定感染地域 フィリピン

*29週報で掲載した例で、疑似症から確定へ訂正報告あり

腸管出血性大腸菌感染症

1	岡崎市	2	女	7/13	7/17	7/21	O157 VT1(+)	
2	豊川	1	男	7/18	7/19	7/23	O157 VT1(+) VT2(+)	
3	豊川	10	男	7/19	7/20	7/22	O157 VT1(+) VT2(+)	
*	春日井	2	女	7/15	7/22	7/28	O26 VT1(+) VT2(-)	31週 報告分

四類・五類(全数把握)感染症の発生状況 - 愛知県(名古屋市を除く。) -

クロイツフェルト・ヤコブ病1例 (孤発性:31週報告分)

愛知県衛生研究所企画情報部（文責 磯村）

地表温度が 40 を超えそうなアスファルト・ジャングル、夾竹桃の赤や白の花だけが元気に咲き誇っています（以前インドの調査についてきた学生が帰国後学生新聞に書きました。「名も知らぬ熱帯の花が咲いていた」。夾竹桃のことです）。いつも貴重な情報を有難うございます。7 月前半のまとめをお送りします。

- 1) 名古屋市内：名鉄病院福田先生からは感染症は全般に少ないがヘルパンギ-ナ、アデノウイルスと思われる急性扁桃炎が比較的多く、無菌性髄膜炎が急増中でマイコプラズマ肺炎がコンスタントに入院、第一日赤加藤先生からは溶連菌感染症、咽頭結膜熱が依然目立ち、突発性発疹が散発、城北病院渡辺先生からは熱発者（急激な高熱）が多いがアデノ陽性者は少なくヘルパンギ-ナも少ない、ムンプス散発、とびひが多くブ菌性火傷様症候群もあり、MRSA が半数近い、川崎病散見、第二日赤岩佐先生からはムンプス散見、他に特記すべきものなし、千種区今枝先生からは感染性胃腸炎がぼつぼつ、幼稚園児の手足口病が 1 例、三菱病院入山先生からは感染性胃腸炎 4 名で少し落ち着き（病原性大腸菌 O124、O20、O14、カンピロバクタ-）、咽頭アデノウイルス感染症（咽頭炎のみ）5 名、A 群溶連菌感染症 1 名と減少、咽頭結膜熱・ヘルパンギ-ナは今年は少ない、マイコを含む肺炎の入院 6 名、アデノ咽頭炎で入院 4 名、感染性胃腸炎の入院 2 名、労災病院山田先生からは目立つものとして水痘、ムンプス、頭痛・発熱、ウイルス性腸炎、プ-ル熱、ヘルパンギ-ナ、無菌性髄膜炎、仮性クル-プ、嘔吐を伴う発熱で入院、大同病院水野先生からはアデノウイルス感染症が多いがピ-クはこえ、ヘルパンギ-ナ、急性急性胃腸炎（ウイルス性腸炎とカンピロバクタ-などの細菌性腸炎）入院は比較的落ち着いているが当院の特徴として気管支炎、肺炎が多く菌培養で肺炎球菌、インフルエンザ桿菌がよく出るとのお手紙でした。
- 2) 尾張地区：犬山市武内先生からは感染性胃腸炎散発、水痘は減少、ヘルパンギ-ナが多く咽頭結膜熱も増加、ムンプス小流行、江南市昭和病院小児科からはヘルパンギ-ナが目立ち溶連菌感染症は減少、RS ウイルス感染症の入院 3 人、マイコプラズマ肺炎やカンピロバクタ-・サルモネラ腸炎の入院目立つ、常滑市民病院上田先生からは外来ではヘルパンギ-ナ、アデノウイルス感染症、細菌性腸炎（サルモネラなど）、突発性発疹、手足口病、入院ではアデノウイルス感染症、ウイルス性気管支炎、感染性胃腸炎などが目立つとのお手紙でした。
- 3) 三河地区：加茂病院梶田先生からはヘルパンギ-ナ増加、ムンプス流行、手足口病はあまりなく無菌性髄膜炎の入院は 1 名のみ、刈谷市田和先生からはアデノ陽性の急性扁桃とヘルパンギ-ナ時々、特記所見なく 2 日くらい発熱するものが多い、碧南市永井先生からはヘルパンギ-ナとアデノウイルス感染症が目立ち手足口病散発、豊橋市からは細菌性腸炎、ウイルス性気管支炎が少々（市内長屋先生、宮澤先生）とのお手紙でした。有難うございました。

愛知県衛生研究所企画情報部（文責 磯村）

2004 年 7 月 2 日（79 巻 27 号）

ポリオ。ス - ダン。04 年 6 月 22 日、南ス - ダン・ダルフル地区でポリオ患者 1 例。（同地区では 3 年間患者発生がなかった）。患者から分離されたポリオウイルスは、隣接する北部ナイジェリアにおけるポリオ野生株と遺伝的に同一。03 年 8 月以来ポリオワクチンの安全性に関する流言蜚語のため、北部ナイジェリアではワクチン接種が行なわれておらず、麻痺性ポリオの輸出例が近隣 10 ヶ国に及び、ナイジェリア国内では雨期に入り毎週麻痺患者が発生し患者数増加、04 年 1 月から現在までに 259 例報告。WHO は対策として北部ナイジェリアへの旅行者に必ずワクチン接種を実施するよう強く勧告。

ス - ダン・ダルフル地方の感染症緊急警告。ダルフル地区では内戦のため百万人以上の国内難民が発生。04 年 4 - 5 月、WHO は国連機関や NGO の協力で実態把握のための緊急サ - ベイランスを実施、警告を発表。国内難民感染症緊急対策プロトコ - ルにそって現地の保健担当者、国、WHO、NGO が現地調査、検査室診断、統計的解析を進める。

レブラ（WHO の記載どうりここではレブラとします）：多剤併用療法の 25 年。今回 WHO から出版物発行。Multidrug therapy against leprosy. Geneva WHO.2004 (<http://www.who.int/lep/>)。内容紹介。

6 月 25 - 7 月 1 日届出。コレラ：ベニン、象牙海岸、タンザニア、香港（輸入例）、インド。

2004 年 7 月 9 日（79 巻 28 号）

エボラ出血熱。南ス - ダン：最近の状況。州当局と協力チ - ムが米合衆国 CDC 専門家の検索結果に基づいて各症例を再チェックした。6 月 6 日時点で 17 例（死亡 7）確認。一番最近の例は 6 月 26 日死亡（発病と隔離は 6 月 14 日）以来発病者はない。

ポリオ根絶。アフリカの輸入例：世界的なポリオ根絶の進捗にかかわらず、北部ナイジェリアの発生数増加と近隣諸国への輸出は 04 年も続いている。03 年半ばの同地区カノ州におけるポリオワクチン中止で増加、輸出はそれまで野生株のなかった近隣 10 ヶ国に及んでいる（一覧表あり）。隣接 22 ヶ国では 04 年 9 月と 10 月の 2 回、ワクチン一斉接種を 7 千 4 百万人の小児を対象に実施する予定。同時に WHO は北部ナイジェリアへの旅行者にワクチン接種を勧告している。 B 型肝炎ワクチン。WHO 基本方針：WHO の B 肝ワクチン基本方針報告書。

B 肝ワクチン接種の主目的は慢性肝炎、肝硬変、肝癌の予防。 国の実施する予防接種に他の予防接種と組み合わせて計画する。 各地域の状況に従って計画立案。i) 周生期感染が多い地域では B 肝ワクチンは出生直後（< 24 時間）に接種。 i i) 周生期感染が少ない地域では、B 型肝炎が周生期感染の疾患全体に占める重要性、ワクチン準備の可能性と効果対費用性をワクチン接種開始前に十分考慮すること（注：これ以上具体的な勧告は書いてありません。注文するのは無理かも知れません）。一つのオプションとしてスケジュールの例示あり。出生時に B 肝 + BCG、以後生後 6、10、14 週に B 肝、生ポリオ、DTP 三種混合、9 ヶ月 - 1 歳に麻疹。 基本姿勢：満たすべき要件として、安全かつ有効。取り扱い簡便。低価格。などの点があげられている。

寄生虫症。カンボジア：カンボジアでは 3 / 4 の学齢期児童を腸管寄生虫感染から予防可能となった。これは WHO の目標よりも 6 年早い。5 年前には 70% 以上のカンボジア学童が腸管寄生虫に感染していたが関係者の努力が大きかった。周辺諸国に普及したい。 6 月 11 - 24 日届出。コレラ：ベニン、リベリア、ジンバブエ、日本。

愛知県感染症情報

2004年第30週(平成16年7月19日～7月25日)

愛知県衛生研究所

愛知県	定点数					RSウイルス感染症	鳥インフルエンザ(高病原性)	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	風しん	ヘルパンギーナ (成人麻しんを除く。)	麻しん	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (オウム病を除く。)	成人麻しん
	インフルエンザ	小児科	眼科	STD	基幹																					
愛知県 (名古屋市を含む)	195	182	35	51	13	0	0	151	114	372	77	71	34	134	3	2	359	2	267	0	44	0	1	8	0	0
総数 (名古屋市は除く)	125	112	24	37	12	0	0	114	72	235	56	52	26	107	2	2	261	2	201	0	34	0	1	8	0	0
名古屋	70	70	11	14	1			37	42	137	21	19	8	27	1		98		66		10					
尾張東部	瀬戸	9	9	2	3	1		8	13	21	6	6	3	7			13	1	18		3			3		
海部津島	津島	7	7	2	2	1		8	11	23	2			5			4		20		1		1			
尾張中部	師勝	4	4	1	1			2		5							10		10							
尾張西部	一宮	16	12	3	4	1		15	8	38	6	7	5	7			18		16		1					
尾張北部	春日井	9	9	2	3	1		4	4	7	8		1	8			33		17		2			1		
	江南	6	6	1	2			2	3	35	6		1	9			20		11		1					
知多半島	半田	6	6	1	2	1		3	4	6	7		2	4	1		3	1	10							
	知多	7	7	2	2			29	4	15	4	7	4	6		1	22		24							
西三河南部	岡崎市	11	7	2	2	1		2	7	5		1	1	11			17		6		1					
	衣浦東部	11	11	2	4	1		1	6	14	5	19	1	15			41		17		6					
	西尾	5	5	1	2	1		4	1	6	2		2	7			26		15							
西三河北部	豊田市	8	8	2	3	1		7	5	33	8	8		10		1	24		22		17					
	加茂	3	3		1			4	2			1	1				2		5							
東三河南部	豊橋市	12	8	2	4	1		3	2	15	1	1	1	10	1		20		3		2			2		
	豊川	9	8	1	2	1		19	2	12		2	4	8			8		5					2		
東三河北部	新城	2	2			1		3			1								2							

愛知県感染症情報

2004年第30週(平成16年7月19日～7月25日)

愛知県衛生研究所

年齢階層 (名古屋市を除く)	RSウイルス感染症	インフルエンザ (高病原性鳥インフルエンザを除く。)	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	風しん	ヘルパンギーナ	麻しん (成人麻しんを除く。)	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (オウム病を除く。)	成人麻しん
計	0	0	114	72	235	56	52	26	107	2	2	261	2	201	0	34	0	1	8	0	0
～6ヶ月			1	1	1		1		6	1		1									
～12ヶ月			2		11	4	2	5	66	1		28				1					
0歳																					
1歳			13	3	26	9	12	2	31			64	1	5		1					
2歳			18		28	14	4	2	2			42		14		1					
3歳			14	10	31	11	13	1	1			48	1	39					1		
4歳			20	12	19	10	4	4			1	35		56		3			2		
5歳			24	16	23	5	6	4				20		40		5					
6歳			10	10	11	2	4	5				13		12		2					
7歳			4	4	12		2	1				2		14		1					
8歳			5	6	6		2	1				4		3		2					
9歳			2	3	3			1				1		4							
5歳～9歳																			2		
10歳～14歳			1	2	15		2		1			3		9					1		
15歳～19歳				1	7									2							
20歳～				4	42	1					1			3							
20歳～29歳																5					
30歳～39歳																3		1	1		
40歳～49歳																2					
50歳～59歳																1					
60歳～69歳																1					
70歳～																2					
70歳～79歳																					
80歳以上																			1		

愛知県感染症情報

2004年第1週～第30週(平成15年12月29日～平成16年7月25日)(累計)

愛知県衛生研究所

	定点数					RSウイルス感染症	インフルエンザを除外(高病原性鳥インフルエンザ)	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	風しん	ヘルパンギーナ	麻しん (成人麻しんを除く。)	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎*	クラミジア肺炎 (オウム病を除く。)	成人麻しん
	インフルエンザ	小児科	眼科	STD	基幹																					
愛知県 (名古屋市を含む)	195	182	35	51	13	195	37,700	2,175	6,849	26,701	9,113	905	2,254	3,571	81	100	6,080	49	5,616	18	934	12	12	155	0	0
愛知県 (名古屋市は除く)	125	112	24	37	12	171	29,464	1,611	4,757	18,248	7,388	730	1,737	2,822	72	46	4,671	49	4,645	13	787	12	12	153	0	0
名古屋	70	70	11	14	1	24	8,236	564	2,092	8,453	1,725	175	517	749	9	54	1,409		971	5	147			2		
尾張東部	9	9	2	3	1	28	1,855	115	598	1,055	448	27	177	175	9	2	425	7	220	2	18			18		
海部津島	7	7	2	2	1		2,036	69	169	1,912	511	13	63	101	4		164		189		32		5	42		
尾張中部	4	4	1	1			1,006	4	76	773	171	4	91	44			148		71		17					
尾張西部	16	12	3	4	1	4	2,133	170	458	1,975	609	275	75	280	3	2	244	3	283		20	1		1		
尾張北部	9	9	2	3	1	18	2,832	237	590	1,233	759	24	206	256	4	5	334	3	576		27	3	6	1		
	6	6	1	2			1,109	80	538	1,622	631	14	90	218	3	3	266	2	224		42					
知多半島	6	6	1	2	1	5	1,060	84	268	617	308	13	87	141	2	1	139	2	304		2			4		
	7	7	2	2		27	1,701	238	191	1,637	634	56	227	214		1	253		491	2	11					
西三河南部	11	7	2	2	1	5	1,945	46	422	433	731	22	122	326	6	5	397	4	378	1	46					
	11	11	2	4	1	1	3,207	137	398	1,015	627	165	122	279	4	4	373	5	853		69			6		
	5	5	1	2	1	2	864	28	158	648	244	13	113	120			169	6	306		37					
西三河北部	8	8	2	3	1	57	2,967	116	249	2,040	588	41	137	200	33	22	460	6	448		367		1	26		
	3	3		1		2	414	34	71	378	125	18	43	41			54		45							
東三河南部	12	8	2	4	1	3	4,205	74	368	1,866	445	24	57	243	4		609	10	122	2	61	7		27		
	9	8	1	2	1	19	1,967	175	199	1,022	519	18	124	169		1	628	1	108	6	38	1		28		
東三河北部	2	2			1		163	4	4	22	38	3	3	15			8		27							

* 津島保健所から28週分1件追加報告あり

愛知県感染症情報

2004年第1週～第30週(平成15年12月29日～平成16年7月25日)(累計)

愛知県衛生研究所

年齢階層 (名古屋市を除く)	RSウイルス感染症	インフルエンザ(高病原性鳥を除く。)	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	風しん	ヘルパンギーナ	麻しん (成人麻しんを除く。)	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎*	クラミジア肺炎 (オウム病を除く。)	成人麻しん
計	171	29,464	1,611	4,757	18,248	7,388	730	1,737	2,822	72	46	4,671	49	4,645	13	787	12	12	153	0	0
～6ヶ月	65	277	6	14	229	200	18	6	218	22		29				10					
～12ヶ月	53	616	39	22	1,126	481	50	33	1,645	11	5	306	8	30		10					
0歳																	5	1	1		
1歳	32	2,092	238	112	2,671	1,380	144	78	875	3	7	1,273	14	221		44			12		
2歳	6	1,947	252	220	1,925	1,215	111	116	64		4	948	5	385		27			8		
3歳	7	2,114	297	523	1,884	1,401	109	177	8	2	2	889	2	708	1	41			20		
4歳	2	2,528	268	930	1,733	1,277	100	261	4	1	4	617	6	964		40			19		
5歳	4	1,738	191	950	1,428	696	78	341		2	1	314	2	905		40					
6歳	2	1,342	93	650	972	324	40	246	1	3		141	2	446		18					
7歳		1,110	72	436	816	152	27	168	2	1	2	70	2	308		13					
8歳		966	40	252	603	80	12	120	1	1		23	1	219		7					
9歳		1,056	35	172	538	43	12	79	1	1	1	23		153		4					
5歳～9歳																				45	
10歳～14歳		4,275	42	257	1,209	72	13	79	2	1	2	23	3	188		20		2	29		
15歳～19歳		1,952	2	24	394	11	2	2			2	3	2	21		8			2		
20歳～			36	195	2,720	56	14	31	1	24	16	12	2	97			7				
20歳～29歳		2,465														2	102		4	1	
30歳～39歳		2,408														4	190		4	6	
40歳～49歳		1,051														2	50			3	
50歳～59歳		626														3	57		1		
60歳～69歳		455															62			4	
70歳～																1	44				
70歳～79歳		265																		1	
80歳以上		181																		2	

* 津島保健所から28週分1件追加報告あり